

## 平成 27 年第 1 回社会教育委員会

- 1 日 時 6 月 17 日（水）午後 3 時～午後 4 時 40 分
- 2 場 所 教育委員会会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員 11 人（中村委員、千葉委員、平塚委員、末永委員欠席）
  - (2) 教育委員会  
田村教育長、山岸部長、湯佐課長、林館長、宮入主幹、足利係長、林係長、西田係長、松浦主事、林主事補
- 4 委嘱状交付※委員長挨拶まで山岸部長進行。  
⇒教育長から、変更のあった 2 名の委員へ委嘱状を交付。（部長が氏名を読み上げ教育長が委員の正面に移動して交付。）
- 5 教育長あいさつ  
⇒田村教育長より挨拶
- 6 会議次第
  - (1) あいさつ  
⇒岩谷委員長より挨拶 ※以下、岩谷委員長が議長となり進行。
  - (2) 社会教育委員紹介  
⇒議席順に自己紹介
  - (3) 教育委員会職員紹介  
⇒教育長以下出席職員の自己紹介
  - (4) 議事
    - ・報告第 1 号 平成 26 度社会教育関係事業の実施状況について  
⇒各担当係及び係長から報告（量も多いため一部抜粋して説明）
    - ・報告第 2 号 平成 27 年度教育行政執行方針について  
⇒教育部長から説明
    - ・報告第 3 号 平成 27 年度社会教育関係予算について  
⇒社会教育係長から説明

- 鈴木委員→海外研修事業について、中学生 16 名、江陵高校・幕別高校から各 1 名という配分となっているが、近年は幕別高校からの参加者がいないが、その分を江陵高校に追加するなどの柔軟性をもたせることはできないのか。
- 西田係長→平成 26 年度に要綱改正を行い、高校生については学校ごとに 1 名という枠組みをつくり、推薦の無かった学校枠については欠員とするように定めた。今後、新体制の中で高校生の枠について再度検討を行う。
- 鈴木委員→項目ごとに成果と課題があるが、平成 27 年度にむけて課題を解決できるよう何らかの手段をとって欲しい。
- 湯佐課長→課題を減らしていくよう努める。
  
- 市川委員→チャレンジデーの課題について更なる広報活動が必要とあるが、多町村に聞いたところ、行政区の会議でも協力を依頼しているという話を聞いた。町をあげての広報活動をしてほしい。
- 湯佐課長→町広報誌やポスターなどによる広報活動は行っている。平成 26 年度については、公区長会議で協力依頼をしていたが、今年は公区長会議の日程が遅かったため、公区への協力依頼が出来なかった。広報活動だけではなく、住民が参加しやすいイベントを企画するなどをする。

○その他、異議、質疑等がなかったため承認。

- ・議案第 1 号 平成 27 年度社会教育関係事業計画について
  - ⇒各担当係及び係長から説明
  - なお、時間の関係から、前年度から大きく変更した事業、新規事業のみの説明とした。
- ・議案第 2 号 平成 27 年度社会教育委員会儀の開催予定
  - ⇒社会教育係から年間 3 回の開催予定を説明。研修会等の協力依頼。

- 西田係長→議案には記載されていないが東部 4 町での合同研修会が今年度から始まり、今年度は幕別町が当番となるため、委員の皆さんの参加・

協力をお願いしたい。

第 55 回北海道社会教育研究大会が 10 月 22 日・23 日に行われるので、委員の皆さんの参加をお願いしたい。

○その他、異議、質疑等がなかったため承認。

(5) その他

・部会の開催について（西田係長）

→平成 26 年度の第 3 回社会教育委員会において、平成 27 年度の第 1 回会議で部会を設置し、生涯学習中期計画の進捗状況の確認を行うということでお話していたが、現在確認するための資料が無いことから、今年度の第 2 回会議において部会構成案を示し、部会を開催したい。

・平成 29 年度第 59 回全国社会教育研究大会について（岩谷委員長）

→平成 29 年度第 59 回全国社会教育研究大会は北海道での開催となるため、委員の皆さんには、今から予定をあけていただき、参加・協力をお願いしたい。

・一般社団法人全国社会教育委員連合について（岩谷会長）

→財政状況が苦しいため、社会教育委員一人につき、1,000 円の負担を求めてはどうかとの話があった。委員の皆さんの意見を伺いたい。

→組織の概要や会計状況など不明な点が多いため、現状で意見を言うというのは難しい。

→事務局から関係資料を送付するので一度目を通してほしい。

◎ 欠席委員には、議案等を郵送する。

◎ 出席委員には、第 59 回全国社会教育研究大会等に係る資料を送付する。